東京文化発信プロジェクト

平成 26 年 4 月 1 日
東京文化発信プロジェクト室
（公益財団法人東京都歴史文化財団）

東京文化発信プロジェクト
平成 26 年度　年間ラインアップ発表

２０１６年東京オリンピック・パラリンピックの招致活動を機に開始した東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて「フェスティバル」「キッズ・ユース」「東京アートポイント計画」「ネットワーキング」の４つを柱に、「伝統芸能・文化」「演劇・ダンス」「音楽」「美術・映像」などの幅広い分野で事業を展開しています。２０２０年東京オリンピック・パラリンピックの招致が決定し、東京に対する国内外の関心がますます高まっている今、さらにプログラムを充実させ、東京の文化を世界へと発信していきます。

■より一層多くの方々に楽しんでいただけるバラエティ豊かな「フェスティバル」

世界に誇るべき日本の伝統芸能・文化を国内外へ広く発信するとともに、その根底にある「和の心」を次世代に継承していく**「東京発・伝統 WA 感動」**を継続して実施します。また、**「六本木アートナイト 2014」**は「動け、カラダ！」をテーマに六本木エリアで多彩なプログラムを展開するとともに、**「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」（連携事業）**では１０回記念企画も実施します。

■子供・青少年向けの参加型事業をさらに拡充！

「キッズ・ユース」では、子供たちが一流の実演家から能楽や日本舞踊などの伝統芸能を本格的に学ぶ**「キッズ伝統芸能体験」**において、新たに高校生クラス、これまでの参加者を対象にした修了生クラスを設けるほか、市の施設と連携し短期間で稽古から発表会までを行なう地域密着型プログラムも実施します。他にも様々な分野で参加・体験型の事業を展開することにより、将来の活躍が期待される若年層に広く門戸を開き、創造活動を体験する機会を拡げます。

■8つの新規アートプロジェクトが始動する「東京アートポイント計画」

地域・市民が主体となり展開するアートプロジェクトを通じて東京の多様な魅力を創造・発信する「東京アートポイント計画」では、継続実施している**「TERATOTERA」**や**「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」**などとともに、さらに８つの新規プロジェクトを開始します。福祉などの領域を横断するプロジェクトや多摩・島しょ地域へと展開エリアを広げます。また、芸術文化を活用した被災地支援事業にも引き続き取り組んでいきます。

■「世界的な文化創造都市・東京」を目指し、国内外に発信

「ネットワーキング」では国内外から文化関係者等を東京に招聘し、会議の開催や招聘プログラムによる交流・意見交換を通してネットワークの強化と東京文化の国際発信を推進します。

■「東京の文化を知る、深める、高める。」フリーペーパー『TOKYO PAPER for Culture』

昨年度に創刊した**『TOKYO PAPER for Culture』**。フリーペーパーそのものを“文化研究所”、制作チームを文化研究員に見立て、毎号、外部から迎える個性豊かな客員研究員（文化関係者）たちとともに、アートプロジェクトの数々や「東京文化」そのものを“研究対象”に挙げ、取材を通して、様々な“研究成果”を紙面で展開します。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。
また、秋に実施している「東京クリエイティブ・ウィークス」については、夏頃に概要の発表を予定しています。

●東京文化発信プロジェクトとは
東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が、芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。多くの人々が文化に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルをはじめ多彩なプログラムを通じて、新たな東京文化を創造し、世界に発信していきます。
http://www.bh-project.jp

＜本件に関するお問い合わせ先＞
公益財団法人東京都歴史文化財団　東京文化発信プロジェクト室　広報　担当：森（隆）、浅野
TEL　03-5638-8805　FAX　03-5638-8811　E-mail　press@bh-project.jp

平成26年度　実施事業一覧＜フェスティバル＞

ジャンル	事業名	実施場所	開催時期	概要
伝統芸能・文化	東京発・伝統WA感動 ＜伝統芸能公演＞	国立劇場、東京国際フォーラム　ほか	8月～12月（予定）	伝統芸能・文化の魅力を国内外へ発信するための事業です。伝統芸能公演では、能楽、邦楽、日本舞踊、寄席芸、民俗芸能などを広く取り上げ、新たな観客層をターゲットにすそ野拡大を目指し、一流の実演家による本格的な公演を開催します。人間国宝と次世代の継承者たちとの舞台を始めとして、昨年度に引き続き公募によるプログラムも実施します。
	東京大茶会2014 （東京発・伝統WA感動事業）	江戸東京たてもの園 浜離宮恩賜庭園	9月～10月	都内の庭園と野外博物館に様々な流派が一堂に会する大規模な茶会を催し、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を国内外へ紹介します。本格的な茶席をはじめ、秋空の下で楽しむ野点や初心者向けの茶道教室など、茶道に馴染みのない方々や海外の方などに「お茶の文化」に親しみ、気軽に楽しんでいただく茶会です。江戸東京たてもの園会場では、新たに茶席を増やし、より一層多くの方に「茶文化」を体験していただきます。
演劇	芸劇セレクション	東京芸術劇場	通年	若手の演出家を起用した公演、若手の人材育成など、様々な舞台芸術作品を上演します。今年度は、野田秀樹芸術監督の作品の中から再演の機会がほとんどない過去の名作戯曲を新進気鋭の演出家を起用して上演する「小指の思い出」、勅使川原三郎氏による青少年を対象としたワークショップ、朗読とトークを組合せた「自作自演」、「朗読『東京』」などを実施します。
音楽	Music Weeks in TOKYO 2014	東京文化会館 東京芸術劇場　ほか	9月～平成27年3月（予定）	世界的な音楽都市である東京でこそできる音楽文化の活性化、創造力の向上を目指し、「参加性」と「創造性」を柱とした多様な事業を一体的に展開する音楽フェスティバルです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施するほか、地域に根ざした「まちなかコンサート」、海外の教育普及機関などと連携した「ミュージック・エデュケーション・プログラム」を開催します。
	プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	ルネこだいら、府中の森芸術劇場、オリンパスホール八王子　ほか	通年	多摩地域・島しょ地域の各所で、子供から大人まで幅広い方々がクラシック音楽を身近に親しむ機会をつくるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げる気運醸成のため、“首都東京の音楽大使”である東京都交響楽団が、観客参加・体験型のオーケストラ公演、アンサンブル公演を開催します。
	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭2014　＜連携事業＞	東京国際フォーラム ほか	4月～5月	ラ・フォル・ジュルネは、クラシック音楽のすそ野を広げ、その楽しさを一人でも多くの人と分かち合うことを目的とする音楽祭です。世界最大級のこの音楽祭と連携し、子供たちを対象に、体験を重視したワークショップやアウトリーチ、若手音楽家の育成を図るプログラム等を実施します。今年度は、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン10回記念企画も実施します。
	サウンド・ライブ・トーキョー	未定	11～12月（予定）	「サウンド」に関わる表現の現在を多角的に紹介する新しい形のフェスティバルです。音楽と音をめぐって、直観と知性をつなぐ先鋭的なライブ・パフォーマンスや作品を、幅広い観客層へ届けるとともに、海外への発信も展開していきます。
美術映像	六本木アートナイト2014	六本木エリア	4月19日（土）・20日（日）	生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。今年度のテーマ「動け、カラダ！」を基に、古着を繋ぎ合わせて作る巨大パッチワーク作品《カラダひとつプロジェクト》や一般参加型の六本木パレード《ふわりたい ながれたい つなぎたい》など工夫を凝らした多彩なプログラムを多数実施します。
	東京アートミーティング（第5回） 「新たな系譜をもとめて/アート・身体・パフォーマンス」（仮称）	東京都現代美術館	9月～平成27年1月	現代アートと様々な分野の表現が出合うことで、新たな可能性を探求する東京アートミーティング。第5回目となる本展は、総合アドバイザーに野村萬斎をむかえ、伝統から現代にわたる多様な身体表現を横断しつつ、私たちの身体の記憶を新たな創造に結びつける方法を探ります。本展では現代の表現を中心に、歴史を参照しながら、絵画、写真、映像、インスタレーション、ライブパフォーマンスなど多様な表現を紹介します。
	第7回恵比寿映像祭	恵比寿周辺ほか（詳細は平成26年10月頃発表予定）	平成27年2月～3月	恵比寿映像祭は、映像芸術文化を国内外に発信することを目的とした、アートと映像の国際フェスティバルです。今年度は、東京都写真美術館が改修工事休館中のため、館外会場において、ジャンルを横断した芸術性の高い映像作品の展示や上演、ライブイベント、講演、トーク・セッションなど複合的な形式で実施していきます。

平成26年度　実施事業一覧＜キッズ／ユース＞

ジャンル	事業名	実施場所	開催時期	概要
伝統	キッズ伝統芸能体験 （東京発・伝統WA感動事業）	宝生能楽堂、 浅草公会堂 ほか	通年	日本人が大切にしてきた伝統芸能を知り、その心を継承することを目的とした事業です。能楽、日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家から、子供たちが7か月にわたり直接指導を受け、最後にその成果を舞台で発表します。今年度は高校生クラス、これまでの参加者を対象にした修了生クラスを新設するほか、より参加しやすいよう短期間で稽古から発表会まで行う地域密着型のプログラムも新たに導入。高校生対象の「ユース特別版」も引き続き実施します。
演劇	パフォーマンスキッズ・トーキョー	都内文化施設、 都内公立小中学校 ほか	6月～平成27年3月 （予定）	ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを学校やホール等におよそ10日間派遣、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げ、最終日に発表公演を行います。現代的な表現を追求するアーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。
	TACT/FESTIVAL 2014	東京芸術劇場	5月	子供はもちろん、大人でも十分に楽しめる上質な海外招聘公演を実施します。5回目を迎える今年度は、メインの2作品（フランス発のヌーヴォー・シルクの最前線「リメディア～いま、ここで」と、スイスのアーティスト・ユニットの最新作「ハンスはハイリ～どっちもどっち!？」）他、カナダ、タイからの招聘作品も加えて、東京芸術劇場でのフェスティバル感を創出します。
音楽	青少年のための舞台芸術体験プログラム	たましんRISURUホール 東京文化会館 ほか	6月～平成27年3月 （予定）	若い世代が舞台芸術に対する興味や理解を深め、芸術分野の人材育成を行うための事業です。東京文化会館「オペラBOX」と連動して、青少年が芸術文化に触れる機会を提供する体験型のワークショップや、学校などで生演奏によるクラシック音楽の魅力を伝える「アウトリーチ・コンサート」、子供たちに楽器指導を行いながらコンサートを共に作り上げる「アウトリーチ・ワークショップ」などを実施します。
美術 映像	Museum Start あいうえの	東京都美術館 ほか	通年	ミュージアム、大学、行政、市民が手を携えて、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業です。上野公園に集まる文化教育施設が連携し、子供たちの“ミュージアム・デビュー”を応援するとともに、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。東京都美術館と東京藝術大学が推進役となって実施します。

平成26年度　実施事業一覧＜東京アートポイント計画＞

東京のなかで、地域資源をアートでむすび、まちの魅力を創造・発信していくアートプロジェクトを展開します。
プロジェクトの実施を通じて、多様な分野と協働しながらまちづくりに関する様々な活動を推進していく人材と環境を作っていきます。　※詳細については、決定次第、プレスリリース、ホームページでご案内させていただきます。

事業名	実施場所	共催団体	概要
TERATOTERA	JR高円寺-国分寺エリア	一般社団法人Ongoing	古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたい街としても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信する様々なプログラムを展開します。人材育成にさらに力を入れ、テラッコと呼ばれるボランティア主体の企画を継続的に実施。その他、アートマネージャー向け英語講座をTARLと連携して行います。
小金井アートフル・アクション！	小金井市	特定非営利活動法人アートフル・アクション／小金井市	小金井市をフィールドに、市民がアートと出合うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけを作ることを目的としています。芸術文化によるまちづくりの検討や市民が事業に関わる場づくりを実施します。平成26年度はこれまでの活動をアーカイブとして残し、さらに文化政策としてのアートプロジェクト実施について検討します。
としまアートステーション構想	豊島区	一般社団法人オノコロ／豊島区	多様な人々が、豊島区内の地域資源を活用し主体的にアート活動に取り組めるよう、環境を整備することを目指し、アートステーションを拠点に事業を展開します。雑司が谷のとしまアートステーションZでは、セルフカフェ方式を取り入れた交流の場の創出とともに、アーティスト・EAT & ART TAROによるプログラムを実施します。Zに加え、新規にアートステーションYを開設し、アーティスト・中崎透によるプロジェクト等も行います。
アートアクセスあだち　音まち千住の縁	足立区	東京藝術大学音楽学部／特定非営利活動法人音まち計画／足立区	足立区千住地域を舞台に、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）のつながりを生み出すことを目指し、まちなかの担い手と連携しながら「音」をテーマとした多様なプログラムを展開します。平成26年度はメインプログラムのひとつとして、作曲家・野村誠とともに取り組む「千住だじゃれ音楽祭」で「千住で1,010人の音楽会」の実現を目指します。
長島確のつくりかた研究所：だれかのみたゆめ	都内各所	一般社団法人ミクストメディア・プロダクト	研究員の自治によるユニークかつ多彩な研究活動を通して、既存の方法論ではカバーしきれない「つくりかた」を発明・検証するプロジェクトです。今後のアートプロジェクトに多角的に貢献できる人材を育成することを目指します。 若手研究員とベテラン研究員（演劇・建築・音響・映像・写真・文筆の専門家）が、「だれかのみたゆめ」を共通テーマに自治運営する研究室を立ち上げ、リサーチや、成果発表の方法などを考察・実行します。
汐入タワープログラム	都立汐入公園	一般社団法人CIAN／荒川区	平成22年度から平成25年度にかけて展開した「川俣正・東京インプログレス―隅田川からの眺め」の一環として、都立汐入公園（荒川区）内に制作された「汐入タワー」において実施するプロジェクトです。地域の要望により設置を継続することとなったこの「汐入タワー」を中心にアーティストが地域の人を交えたワークショップやレクチャーを実施します。
ぐるぐるミックス	谷中エリア	一般社団法人谷中のおかって	谷中エリアを舞台に、こどもとアーティストとまちの大人が、暮らしのそばから「あそび」をうみだす創作教室を実施します。 若き表現者や専門家、市民や学生など様々な立場の人々が出会い、交流し、新しいアートを生み出すような、場の創出を目指します。
Art Bridge Institute 【新規事業】	多摩市　ほか	Art Bridge Institute （NPO設立準備中）	多摩市をケースに、アーティストや大学生が地域コミュニティをリサーチ。街にある様々なものにブリッジをかけることで、人と人とがつながりをもてるようなアートプロジェクトをつくります。また、このようなアートプロジェクトや、アートと他分野との連携についての研究活動を行い、そこから生まれる新たなアートの役割、ものづくりの可能性について探求します。
AKITEN 【新規事業】	八王子市	AKITEN （NPO設立準備中）	八王子市内の空きテナントなど空きスペースの活用によって、商店街や地域の価値、独自性を高めることを目的としたプロジェクトです。アート作品の展示をはじめ、産業、文化、歴史など地域の独自性を持ったコンテンツを空きテナントに持ち込み、アート、デザインの力でそれらの魅力を市内外に広めていきます。空きテナントを求めて人々が集まり、まちの空きスペースを地域の人々の想像力で埋めていける街づくりを目指します。

平成26年度　実施事業一覧＜東京アートポイント計画＞

事業名	実施場所	共催団体	概要
トッピングイースト 【新規事業】	東東京エリア	トッピングイースト （NPO設立準備中）	響きの美しい鮮やかな音粒を東東京エリアに振りまきながら、音楽がまちなかでできることを拡張していきます。スカイツリーや下町観光開発が日々進化し続ける東東京エリアにおいて、店舗や公共施設を解放したり、自由に参加できるパレードを作ったり、パブリックな場所での音楽の展開可能性・適正規模を追求していきます。
TOKYO FABBERS 【新規事業】	渋谷駅周辺及び都内西南エリア	Fab Cafe LLP	情報産業の集積地であり多彩な文化創造・発信地である渋谷周辺に点在するものづくり拠点のネットワーク形成を目指し、渋谷及び周辺エリアで新しいクリエイティブなコミュニティを創出します。参加するものづくり拠点はそれぞれがHUB機能を持っており、それをつなぐことでアーティストやクリエイターに対してコンシェルジュサービスを提供し、新しいものづくりを促進します。
三原色〔ミハライロ〕 【新規事業】	伊豆大島	kichi （NPO設立準備中）	大島を支えてきた世代、大島で生まれ育ちこれからを担う世代、興味を持ち大島へ訪れる多様な世代を繋げることを目的とし、その点と点を「デザイン」や「アート」を使ってつなぎ、活気溢れる地域づくりを目指します。
「光の蘇生」プロジェクト －《Counter Void》再生をめぐって 【新規事業】	六本木　ほか	光の蘇生プロジェクト （仮称、NPO設立準備中）	東日本大震災を契機に消灯した、六本木・けやき坂に常設されているアーティスト・宮島達男の作品《Counter Void》。この作品について、3.11以後の日本社会にふさわしいカタチでの再点灯を検討するために、講座・ワークショップ等の様々なプログラムを実施していきます。
東京迂回路研究 【新規事業】	芝　ほか	多様性と境界に関する対話と表現の研究所 (NPO設立準備中)	社会における人々の「多様性」（diversity）と「境界」（division）に関する諸問題に対し、フィールド調査とその報告から生まれる対話を通じて、“生き抜くための技法”としての「迂回路」（diversion）の研究を行います。障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍――様々な背景、その境界線を揺れ動く人々とアートの関係性を探り、ひいてはアートそのものの境界をも探ります。
東京スープとブランケット紀行 【新規事業】	江古田　ほか	一般社団法人指輪ホテル	演出家・劇作家の羊屋白玉を中心に、生活圏に起こるものごとの「終焉」と「起源」、そして、それらの間を追求するアートプログラムを展開します。テーマに呼応するコラボレーターと共に、トークシリーズや、アートプログラムの実施へ向けたエリアリサーチを実施します。また、様々なコラボレーションのもとテーマの追求を可能にするネットワーク形成を目指し、拠点づくりを行ないます。
Tokyo Art Research Lab（TARL）	東京文化発信プロジェクトROOM302　ほか	一般社団法人ノマドプロダクション ※TARL運営プロジェクト	アートプロジェクトを実践する人々にひらかれ、共につくりあげるリサーチプログラム。現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行うことから、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指します。人材育成として実施するプログラムでは、事務局スタッフのスキルを磨く講座や、組織マネジメントに不可欠な知識を身につける研修プログラムなどを展開します。

その他

東京都による芸術文化を活用した 被災地支援事業	東北（岩手県、宮城県、福島県）	（共催事業）	東京都による芸術文化を活用した被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアートNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。

平成26年度　実施事業一覧＜ネットワーキング＞

事業名	実施場所	開催時期	概要
ネットワーキング	未定	10月～11月（予定）	「世界的な文化創造都市・東京」を国内外に向けてより強く発信することを目的として、海外から文化芸術関係者を招聘し、会議や視察プログラム等を開催、東京の関係者と交流する機会を設けます。